

3月議会報告

核兵器禁止条約の批准を国に求める請願

総務文教常任委で趣旨採択

17日に開催された沼田市議会総務文教常任委員会は、昨年12月議会から継続審査になっていた「『核兵器の禁止条約の署名・批准』を求める意見書の提出を求める請願書」（利根沼田平和委員会会長佐藤卓三提出）の再審査を行い、採決の結果、採択1人、趣旨採択5人で、「趣旨採択」で、国への意見書は提出しません。



最低保障年金制度を政府に求める請願

民生福祉常任委で趣旨採択

18日に開催された沼田市議会民生福祉常任委員会は、3月議会に全日本年金者組合群馬県本部利根支部林マツ支部長から提出され、民生福祉常任委員会に付託された「若い人も高齢者も安心できる全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める請願」について審査しました。

請願の内容は、「すべての国民に『健康で文化的な生活を保障する』憲法25条のもとで発生している、無年金者・低年金者を克服するために、欧米先進国のように『全額国庫負担の最低保障年金制度』の創設を求める意見書を国に提出してください。」というものです。

審査の中で、井之川博幸委員は、無年金者・低年金者のおおよその人数を示し、大きな財政負担にはならないこと、国民年金は満額でも、生活保護水準以下の生活にならざるを得ないこと。フランスやイタリアでは、月額6万7,000円から7万3,000円ほどが最低保障され、掛けた保険料に相当する金額が上乘せされることなどを示し、（右中段につづく）↑



経営振興資金の利子を全額補給に

9日の井之川議員の一般質問要求実る

市は、今回のコロナウイルス不況を受けて、中小企業経営振興資金の利子補給金を年8.5%を限度とし、借入金利の3分の1以内から、年8.5%を限度とし、借入金利の額の範囲内とするとし、利子の全額を補助できるように債務負担行為の補正を行います。井之川博幸議員は、コロナ不況対策として、市の制度融資の利率を下げるなど、大幅な拡充を9日の一般質問で求めていました。

現在の経営振興資金は、融資限度額1,500万円、融資期間6年うち据え置き1年以内、利率1.8%、他に信用保証協会の保証料（0.5%～2.2%）が加わります。市は0.4%を補助します。詳しいことは、経済部産業振興課産業振興係におたずね下さい。

0278-23-2111



井之川博幸市議

中心市街地土地地区画整理に3億6千万円

中心市街地土地地区画整理事業は、新年度も3億5,993万円です。2街区、3街区の物件補償費が主なものです。

▽先進国並みに年金で生活できる国にしていくためには、最低保障年金が必要で、請願の「採択」を主張しました。採決の結果は、採択1人、趣旨採択4人で「趣旨採択」でした。



年金支給の毎月支給実施請願も趣旨採択

同じように提出された「年金支給の隔月支給を毎月支給に改める」請願は、採決の結果、採択2、趣旨採択3で「趣旨採択」となりました。

2020年3月22日	No.964
いのさんニュース	
発行所沼田市下久屋町983	☎23-1519
井之川博幸議員活動地域版部内資料	